

## 地元の上山口・木古庭、両町内会長にインタビューを行ないました！

葉山の森プロジェクトでは、昨年秋より地元の上山口町内会・木古庭町内会と協働で「ふるさと絵屏風づくり」の取り組みを開始し、今秋で1年になります。今回は、ふるさと絵屏風についてだけではなく、大和ハウスの森林・里山づくりについて、上山口町内会の倉林会長、木古庭町内会の伊東会長にインタビューを行ないました。



上山口町内会：倉林会長

木古庭町内会：伊東会長

**大和ハウス（以下 DH）：**

大和ハウスが森林・里山づくりを開始する以前、周辺にお住まいの方は、この山に対してどのような印象をもっていましたか。

**倉林会長（以下 倉林）：**当時は、開発をしなかったことに対して不満を感じる人も中にはいました。他方では、「山が荒れている。」という声が多くあったと思います。

**伊東会長（以下 伊東）：**大和ハウス（当時：大和団地）が開発のために土地を購入しましたが、それから市街化調整区域に指定されて、開発されなかったため、基本的にはそれまでと同様に山を楽しんでいたと思います。

**倉林：**時代背景としても、エネルギー源の転換で薪を取りに行くことなども減っていましたから、楽しみのために山に入ることはあっても、生活のために山に入ることはほとんどなくなっていたと思います。大和ハウスの土地の購入と時代が重なって、山が荒れていったのだと思います。

**DH：**平成 24 年 9 月に両町内会に「ふるさと絵屏風づくり※」の協働制作の提案をさせて頂きました。11 月には「ふるさと絵屏風説明会」や 12 月に「五感体験アンケート」を実施しましたが、地域の受け止め方はいかがでしたか。



▲社有地周辺地図



**倉林：**ご提案いただいた当初は、大和ハウスがなぜ急に森林・里山づくりを始めたのか、疑問に思いました。企業ですから、ここでビジネスをするのかな？とも思いましたが、葉山町での地域貢献を通して、企業のブランドイメージの向上を図ろうとしているのだと理解しました。

企業が森林・里山づくりをするのは、社会的にも環境配慮の視点からも、気運が高まっています。しかし、企業が森林・里山づくりを行なうと、森に出入する人が殺到して交通量が増えたり、近隣住民にとっては良くない影響も考えられます。その点で、森林・里山づくりと並行して、「ふるさと絵屏風」を行なうのは良いなと思いました。絵屏風づくりのような文化的な取り組みは、町内会にとって今後の素晴らしい財産になるので、2つを並行して行なうことで、双方にとって、メリットが出てくると思います。

**伊東：**町内会では、ふるさと絵屏風づくりを町内会の1つの事業と位置づけて取り組むことにしました。ふるさと絵屏風は10年前、20年前、もっと前の地域のことを振り返るきっかけになって面白いと思います。五感体験アンケートは、みんな懐かしがりながら書いてくれたと思います。

絵屏風のシンポジウムや聞き取り会など、大きな会を開く度に呼びかけを行ってきた結果、活動の存在は少しずつ、町内で知られるようになってきています。まだ、若い人があまり参加していないので、絵屏風づくりを通して、年代を超えて町内の交流が増えていくと良いですね。



**DH：**平成 24 年 11 月に行なった最初の説明会から、かなり大勢の方がお越しくくださったのも、町内会が大々的に取り組んでいただけているからだと感じます。今後も、話し合いながら進めていければと思います。

DH:大和ハウスとしては、現在は、葉山の森を未来に残すべき貴重な財産だと捉えています。今後も地域の方々と共に、森林・里山づくりを進めていこうと考えているのですが、大和ハウスに期待することは何でしょうか。

**伊東:** 小さな子ども達にとって安心して楽しめる登山道や、森の生き物など、環境教育の場があると良いですね。里帰りしてきて、ちょっと山に遊びに行くといった楽しみ方の出来る魅力のある場所になってほしいと思います。

**倉林:** この地域は人の入れ替わりがあまりないので、地域外に対して閉鎖的になっている面も一部あると思います。大和ハウスが地域づくりに加わることで、地域づくりの新しいやり方を考えるきっかけになれば良いなと思っています。大和ハウスには、葉山で様々なことにチャレンジしてもらって、新しい教育や暮らし方などを見出してもらいたいですね。地元も、大和ハウスを大いに利用して、地域を盛り上げていければ良いですね。

DH:社会にとっても、地域にとっても、大和ハウスにとっても、良い森林・里山づくりをしていければと思います。これからもよろしくお願いします。本日はありがとうございました。



※「ふるさと絵屏風づくり」とは  
地元住民の方々や周辺にお住まいの有志の皆様と一緒に、里山の原風景がどのようなものだったか洗い出し、1枚の絵屏風にまとめ、後世に伝えていこうという取り組みです。大和ハウスでは、取り組みを全面的にサポートしてまいります。

## 「葉山の森」周辺エリアの魅力⑩

### ～上山口 杉山神社例祭・木古庭ふるさと祭～

プロジェクトの紹介と併せて周辺の名所・見所やプロジェクト関連人物・団体などをご紹介していきたいと思います。  
第10回は上山口地区「杉山神社例祭」、木古庭地区「木古庭ふるさと祭」です。

#### 上山口：杉山神社例祭 (8/16~18)

上山口の「杉山神社例祭」は、葉杉会・お囃子保存会・氏子会が中心となって運営されています。神社の由緒あるお祭を大切にしたい、若い世代に繋げたいという熱い想いが溢れていました。

奥は「万灯神輿」で、掛け声は「ドッコイ、ドッコイ、ドッコイ、ソーラ！」  
手前は「本神輿」で、「せいや！せいや！」  
老若男女問わず、みんなで担ぎます★



上山口小学校の子ども達が踊る、「上小ソーラン2013」・「エイサー」・「ノリノリ『こんちゅうたいきょくけん』」。手足がピンッと伸びていて、元気いっぱい！

地元特産のこんにゃくの「みそおでん」甘辛い味噌が食欲をそそります。近所の女性たちによる手作りというのも、地元のお祭ならではの贅沢です。



#### 木古庭：木古庭ふるさと祭 (8/23~25)

木古庭のお祭「木古庭ふるさと祭」は、子ども会による出店や、JAによる野菜の販売、少年野球チーム「木古庭ファイターズ」の父兄による出店があり、手作りで温かい、とてもアットホームなお祭でした。

木古庭の大幟は、高さ23mと、三浦半島一の高さを誇ります。明治13年からの歴史がある大幟は、平成18年に木古庭の大木を使って蘇ったものだそうです。



大幟を立てたら、万灯神輿！写真（左上）は町内を練り歩き、ようやくゴールした神輿。みなさんとても清々しい表情★



お神輿の後、演芸やカラオケ大会が行なわれました。公民館での練習の成果はいかに!?



Daiwa House  
大和ハウスグループ

大和ハウス工業株式会社 東京都開発部/CSR部

東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2160 Fax 03-5214-2169  
建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-22)第5279号 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(14)第245号  
www.daiwahouse.co.jp